

貞山運河周辺の交流拠点形成事業による地域再生計画

都道府県名	宮城県
作成主体名	名取市
区域の範囲	名取市の区域の一部（閑上地区及び下増田地区）

地域再生計画の概要

貞山運河は、古くは江戸時代に建造が開始され、日本一の延長を誇る歴史遺産であり、本市沿岸部を太平洋とほぼ平行に縦断している。

運河沿いには、本市の観光分野を牽引してきた「ゆりあげ港朝市」を有する閑上地区と東北の空の玄関口である「仙台空港」があり、いずれも壊滅的な被害を受けたため、震災からの復興に向け取り組んでいるが、この両地区を運河で結ぶ「川舟めぐり運行事業」の実施により回遊性を持たせることで、沿岸地域における観光の拠点化、復興事業との連動によるまちの賑わい創出を目指す。

適用される支援措置

地方創生推進交付金



船着場及び周辺整備イメージ図



貞山運河体験クルージングの様子 1